

# 平成 21 年度佐賀県 CSO 活動拠点整備事業費補助金実績報告書

様式第 3 号(別紙 1)

事業実績書

CSO 活動支援オプテンスの名称

CSO 市民活動センター「ようこそ」

CSO 活動支援オプテンスで実施した事業内容

本年度は、中間支援組織として県内 10 カ所目に設置しました CSO 市民活動センター「ようこそ」の活動の周知と自主運営に向けた資金確保のため、それらを兼ねた活動 PR 事業に取組みました。

また、運営委員それぞれが「ようこそ」運営について、共通認識を図り、市内 CSO を知る機会としてサポーターとの 2 人体制で来館される市民及び CSO の対応など中間支援組織としての役割の習得を図りました。

## ○CSO データ収集に係る委託事業(小城市単独事業)

目的：市民協働のまちづくりを推進していくため、新規・既存 CSO 団体を含め情報を収集し、行政及び団体間の情報提供・交換連絡の手段を確保すると共に、その活動に更に磨き上げるため体制づくりを行いました。これにより、個人の興味から参加・協働へとなげられるように、市民への団体情報の提供も行いました。

内容：① CSO 及び市民活動団体の調査(文書及び現地調査も含む。)

②調査結果に基づき情報データベース化

成果物：別添資料のとおり

## ○会員の研修への参加(小城市協働支援事業補助金活用)

### 【九州創啓塾 2009 佐賀大会】

目的：テーマである「ソフトパワーで繋がる新しい九州～地域の技術・ブランドを武器に」について地域活性化に活かすためのヒント、アイデアを学習しました。

期日：8月7日(金)～8日(土)

出席者：CSO 市民活動センター「ようこそ」運営委員長 西岡久富美、運営委員 江島佐知子

### 【NPO 活動推進フォーラムやまがた大会】

目的：「未来に広がる新たな地域社会づくり」というテーマのもとに、多様な主体との協働を模索しながら、企業の社会貢献活動という新たな切り口も加え、未来につながる活動の活性化や協働推進のための方策について考えました。

期日：11月10日(火)～11月11日(水)

出席者：CSO 活動拠点サポーター(ようこそサポーター) 西岡明樂

## ○自主事業(入れ歯リサイクル事業)への取組み

目的：補助金終了を見込み、運営資金確保の一手段として実施しました。

内容：各庁舎及び福祉センターの計 8 箇所に入れ歯リサイクル箱を設置しました。  
入れ歯に含まれる貴重な貴金属をリサイクルし、資源に変え、その益金をユニセフへ寄付を行うものです。(40%を日本ユニセフ協会へ、40%は地方自治体の福祉団体へ)

## ○各種イベントでの「ようこそ」PR

目的：“ボランティア”、“市民協働”で繋がる社協との連携を深めるとともに、CSO 市民活動センター「ようこそ」の活動 PR を行いました。

内容：ボランティアフェスタ in 小城(10/17)、牛津産業祭り(11/8)、清水竹灯り(11/18)  
…参画カフェ(コーヒーとクッキー他給湯の販売)  
深川家おひなさまく平成の寺子屋 in 小城(3/13)…手習い・折り紙・甘酒振る舞い等

○市民協働新聞(愛 LOVE ようこそ)の発行

目的：CSO による CSO のための新聞づくりにより、中間支援組織としての周知を図り、協働のまちづくりの拠点としての定着を図るため市内全戸(約 15,000 戸)に区長を通じて配布しました。

成果物：別添のとおり

○市報(おぎ)による設置の周知

目的：まずは、利用してもらうことを第一に、「ようこそ」の取組み内容や場所があることを知らせ知名度(活動力)アップを図る。

掲載内容：別添市報おぎ(4/5号)、(6/5号)、(8/5号)、(11/5号)参照

整備場所 小城市小城公民館内

小城市小城町 176 番地 20

整備スケジュール

CSO 活動支援オフィスの概要

オフィスとして、公共施設の一部である小城公民館の旧管理人室を活用しています。小城公民館内ということで、立地についてもよく周知され、案内もスムーズにできています。出入り口に案内板を設け、各 CSO の活動 PR や相互交流を図る上でのイベントの周知を行うなど利用促進に努めています。

現在、中間支援組織として CSO 市民活動センター「ようこそ」の周知を図ると同時に空きスペースの有効活用の一手段として、事務所内一角に地域見守りコーディネーターの事務所を設置し、拠点活動の活性化に力を入れているところです。

- ・ 今後、「ようこそ」がその役割についてより一層の認識を持ち、また市内 OSO へも OSO を応援する場として認知していただけるよう会員の自己研鑽に努める研修への参加を促します。
- ・ また、団体同士の交流機会を提供する場として、自主事業として研修会の開催や協働事業提案を行い、市民活動(協働)の推進についてより主体性を持ち取組み、より一層の機能向上を図っていきます。

事業実施の成果・効果

運営主体によるネットワーク及びイベント PR、市民協働新聞の発行により、CSO 市民活動センターとしての「ようこそ」の定着が図られたと思います。

利用者も増加傾向にあり、少しずつではありますが市民も市民活動への参加や協働の必要性を感じられているようです。また、会員も中間支援組織としての役割について理解が進んだと思います。

今後の事業展開

今後は、更に地域に身近な中間支援組織として、作成した団体調書をもとに参加から協働へとつながるようボランティアへの紹介や団体同士の連携を深めるための研修会を開催し、ネットワークを重視した活動により、みんなであつくりの気運の醸成を図っていききたいと思います。

その他特記事項

特になし

区 分		決 算 額(円)
佐賀県 CSO 活動拠点整備事業費補助金		1,200,000
自己資金		
収 入	事業収益金 (使用料等)	31,768
	他の補助金、助成金	
	その他(預金利息)	144
合 計		1,231,912

区 分	決算額(円)	内 訳(番号は、領収書番号と一致)
人件費	659,400	当番謝礼 502,000 円、役員会出席交通費 93,000 円 PR 事業出席謝礼 22,400 円、事務局スタツフ手当 42,000 円
光熱費	27,720	水道料 1,260 円×12ヵ月、電気料 1,050 円×12ヵ月
通信費	147,835	フレッツADSL 電話回線基本料及び利用料 91,435 円 BBパツカ(プロバイダー接続料) 50,400 円 郵送料 6,000 円
委託料	142,065	Satelio Lt B300(印刷機)保守点検委託料 79,065 円 (点検 4 回・・・故障時の部品代含む) サポーター研修時食材提供委託(またるの郷) 63,000 円
印刷製本費	101,472	市民協働新聞印刷(音成印刷) 101,472 円
消耗品費	143,420	ボランテニアアスタ IN 小城(活動 PR 事業)消耗品 4,636 円 牛津産業まつり(活動 PR 事業)消耗品 1,292 円 清水竹灯り(活動 PR 事業)消耗品 1,276 円 平成の寺子屋 in 小城(活動 PR 事業)消耗品 16,244 円 サポーター研修事業消耗品 11,488 円 NPO 助成金応募ガイド本 2,000 円 コピー用紙(OPCビータ) 1,395 円×1 箱×1.05= 1,464 円 色上質紙(4 色 500 枚 A4 薄口)840 円×4 台×1.05= 3,528 円 A 型黒板(ペーカー用) 6,000 円×1 台×1.05= 6,300 円 電気機器(加湿器、ストーブ) 27,600 円 コピートナーカートリッジ 11,340 円 ツツカ、ホストワイ他消耗品 56,252 円
負担金	10,000	食品衛生講習会(佐賀中部食品衛生協会)
合計	1,231,912	

支 出